

### 注意事項

これは編集事務局が想定する学名表記のガイドラインであり、必ずしもこれに縛られる必要はありません。全体の体裁やバランスを考慮した上でガイドラインと異なる書き方も認められますので、ご了承ください。

## 植生学会誌における学名の取り扱い

2017年10月編集事務局作成

1. 論文で使用した種名については、原則として本文中において出典(準拠した文献またはデータベース)を明記する。
2. 本文における種名(和名または英名)への学名の併記は、原則として著者の判断に委ねる。ただし、論文の主題となる種が数種である場合は、主題となる種の学名を明記する。なお、種名への学名の併記は、原則として初出時のみとする。
3. 和文・英文原稿を問わず、図表中の種名には原則として和名と学名を併記する。
4. 学名への命名者名の付記は、原則として著者の判断に委ねる。ただし、同じ論文内では付記の有無を統一する。
5. 命名者名の表記法は、International Plant Names Index(<http://www.ipni.org/>)のStandard formに従う(学会HPに掲載されている「植生学会誌の体裁に関する細目」を参照)。
6. 論文中における学名の属名は、原則として見出し(Abstract, Introduction, Methods, Results, Discussion 等)ごとに2回目以降を省略する。ただし、次のような場合は省略しない。1) 文頭、2) 種の省略名として属名を用いる場合、3) 省略しない方が読者にわかりやすいと判断される場合(同じアルファベットで始まる属名が多数ある場合など)、4) 植物社会学的に区分された群落(community)の英名。

以 上